

国立国語研究所学術情報リポジトリ

KOTONOHA Contest 2020 Excellence Award Winner 2

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-03-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 黒沢, 晶子, Kurosawa, Akiko メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003180

氏名 (所属)	黒沢晶子 (元山形大学)
テーマ名	一貫した歴史的増加・減少

・ 検索方法

品詞が「動詞」、活用形が「連用形」 + 語彙素が「て」、品詞が「接続助詞」 + キーの語彙素が「居る」、品詞が「動詞」、語彙素読みが「イル」

前方共起条件を追加する

前方共起 キーから ▾ 2 ▾ 語 ▾

品詞 ▾ の 大分類 ▾ が 動詞 ▾ 条件を削除する 条件を追加する

AND 活用形 ▾ の 大分類 ▾ が 連用形 ▾ 条件を削除する 条件を追加する

前方共起 キーから ▾ 1 ▾ 語 ▾

語彙素 ▾ が て 条件を削除する 条件を追加する

AND 品詞 ▾ の 中分類 ▾ が 助詞-接続助詞 ▾ 条件を削除する 条件を追加する

キー -- ▾ キーの条件を指定しない

語彙素 ▾ が 居る 条件を削除する 条件を追加する

AND 品詞 ▾ の 大分類 ▾ が 動詞 ▾ 条件を削除する 条件を追加する

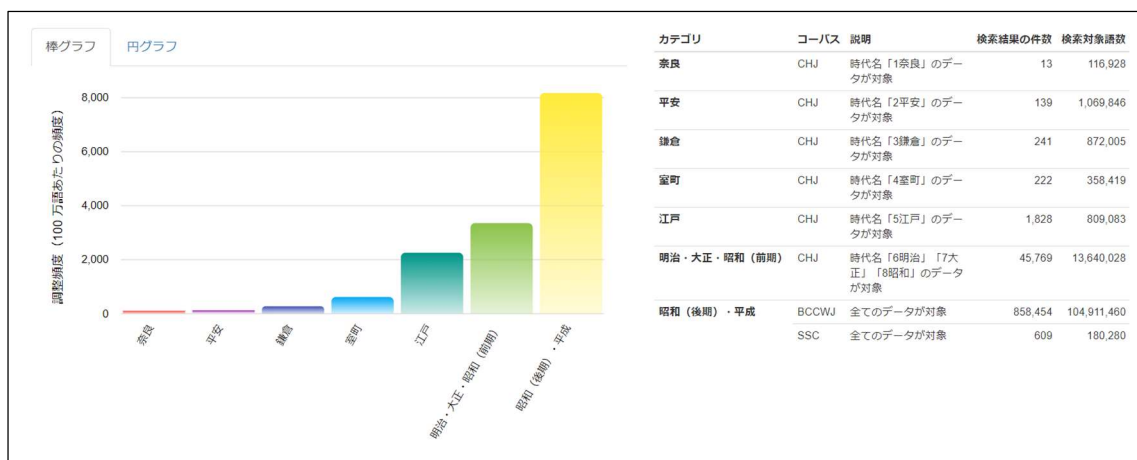
AND 語彙素読み ▾ が イル 条件を削除する 条件を追加する

後方共起条件を追加する

検索対象 ⓘ

コーパス毎 書き言葉・話し言葉 時代 書き言葉・かたい話し言葉・くだけた話し言葉

・ 検索結果



・ 考察

「動詞+て+居る (イル)」における「居る (イル)」は、初め本動詞として使われていたが、次第に補助動詞としての用法を発達させていったことが「動詞+ている」の一貫した増加につながったと考えられる。また、それが本動詞と補助動詞を合わせた「居る (イル)」全体の増加の要因ともなっている。（『居る (イル)』の一貫した歴史的増加 参照）